
2010年度夏学期 第2回 物性セミナー

グラフェンの量子物性

講師 越野 幹人 氏 (東工大理工)

日時 2010年4月23日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

厚さが1層ないし数原子層というグラファイト超薄膜が実験的に作成されるようになり、その物性に関する研究が急速に進められている。これらの物質では伝導帯と価電子帯がエネルギーギャップ無しに接した特殊なバンド構造をもち、ディラック点と呼ばれるバンド接点は様々な物理量に特異性をもたらす。ここでは単層、多層グラフェンの基本的な電子物性(電気伝導特性、光学特性、軌道反磁性)に関する最近の研究を紹介し、ディラック点をもたらす特異な物理現象について議論する。

○今後の予定：夏学期の物性セミナーの予定は下記のWEBページで公開しております。

- 5月7日 出口 哲生 氏 (お茶の水女子大学 理学部)
可積分高次スピン $\times \times Z$ 鎖の相関関数とその周辺：
凝縮系物理学における可解模型の概観と最近の発展
- 5月21日 古川 亮 氏 (東京大学 生産技術研究所)
変形下のガラス状物質の不安定化機構
- 5月28日 金 有洙 氏 (理化学研究所)
分子が電子に逢ったとき
- 6月4日 芝内 孝禎 氏 (京都大学 大学院理学研究科)
- 6月18日 柳瀬 陽一 氏 (新潟大学理学部物理学科)
スピン三重項超伝導体の d ベクトルと対称性の破れ
- 6月25日 大井 万紀人 氏 (専修大学法学部・自然科学研究所)
(仮題) ボース系の摂動展開、またはGP方程式の問題点
- 7月23日 今井 良宗 氏 (東京大学総合文化) TBA

○物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人： 加藤雄介 堺 和光 福島孝治 前田京剛 簗口友紀